



心 友

No 21

令和7年3月12日(水)発行
四万十市立中村西中学校
文責(校長)小野川 憲

～ 卒業おめでとう! ～

今日は3年生の卒業式。84名の生徒が本校を巣立ちました。

「志をもって、未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、取り組んできました。義務教育の9年間を終え、自分が決めたそれぞれのステージで、活躍できることを願っています。



式 辞

春の柔らかな陽射しが差し込み、四万十川の河川敷には、黄色い菜の花が咲きほこる季節となりました。この佳き日、本日ここに、四万十市教育委員会 川村教育委員様はじめ、ご来賓の方々と保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜り、中村西中学校第四十回卒業証書授与式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

三年間の中学校の課程をめでたく卒業される84名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、卒業証書を受け取り、三年間の様々な出来事が脳裏を駆け巡っていることと思います。100年に1度といわれる新型コロナウイルス感染症との戦いの期間を含め、皆さんが過ごした中学校生活は、楽しかったことはもちろん我慢したことや苦しかったこともあったことでしょう。しかし、そのすべてが、かけがえのない思い出であり、皆さんを成長させてくれた貴重な経験になったことと思います。

皆さんが、最上級生となった3年生での運動会では、当日までの取組、競技や応援、それぞれの系の連携など、どれもがとても素晴らしく、皆さんの成長を感じることができました。集団をまとめることは簡単ではありませんが、下級生を指導する時も感情的にならず、丁寧に説明し指導するなど、応援団長を中心に想いをもって取り組んでいる姿から、3年生の集団としての高まりだけでなく、個々の成長を感じることができました。その姿こそ後輩に大切なものを伝えてくれたと感じています。

そして生徒会活動では、活動目標を「新歩～西中のカラヤブリ～」として、挨拶・心得・地域貢献に重点的に取り組みました。「校則」から「心得」に変わり、一人一人が、自分で考え、判断し、きちんと行動するという考えや思いをつないでいくこと、そしてポロシャツや新しい制服の導入も行いました。その際には、生徒会執行部を中心に何度も勉強会を開いたり、学校運営協議会の皆さんと意見交換をしたりして、議論を重ねました。変化が大きかったこの1年を、生徒会執行部を中心に、上級生がしっかりと、学校をリードしてくれたと思います。そんな皆さんを、誇りに思うとともに、この変化が、次の生徒会執行部や、後輩たちに、しっかりと引き継がれていることを、とても嬉しく思っています。

先生方と一緒にあって、よりよい学校を築こうと、リーダーとして、皆の先頭に立ってくれた生徒、目立ちほしくないけれども、地道に仲間を支えてくれた生徒、それぞれ一生懸命に取り組んでくれた一人一人に、心からありがとうという言葉を贈ります。



今日の卒業式は、義務教育を終えるという意味では一つのゴールです。しかし、皆さんのこれからの長い人生を考えれば、今日は新たなスタート地点です。人生の節々には、何度もスタートを切り直すことがあると思います。そんな皆さんに、大切にしてほしいことがあります。

それは、中村西中学校が、授業や話し合いの場面で、大切に取り組んできた「批判的思考」です。「批判的思考」とは、物事や情報をただ受け入れるのではなく、いろいろな角度から検討し、深く考えたり疑問をもったりしながら、論理的・客観的に理解する思考法のことです。この思考法に取り組んだことで、それぞれが、自分自身の考えを持ち、意見をしっかりと伝え合うことで、クラス全体の学びが豊かになり、一人一人が成長していると感じています。私が見た3年生の記述の内容の深さには、驚くことが多くありました。

皆さんが旅立つこれからの社会は、変化が激しく予測困難な社会です。例えば、AIなど目覚ましい科学技術の進歩、グローバル化の進展、多様な価値観が共存する世の中です。価値観の変容で、これまで当たり前と思っていた知識や考え方、前例が通用しないことが少なくありません。目の前の現実に対して、知識と技能を応用することや、異なる価値観をもった人と積極的に関わる社会性が重要です。そして、技術の進歩と引き換えに、ネット上には、真実と嘘が混在した情報があふれるようになりました。このような時代を逞しく生き抜くためにも、この中村西中で学んだ「批判的思考」を常にもち、正しい情報や必要な情報を見極め、判断する力を身に付けてください。皆さん一人一人が持っている、考え方や視点は、とても重要です。今後も、自分自身が、感じたことや考えたことを、しっかりと伝え、友達や家族と、深い話ができるようになって欲しいと思います。そして、何よりも大切なのは、他者の意見に耳を傾けることです。そのことで、自分の考えをより豊かにしてほしいと思います。

中学時代に培った「批判的思考」の力を、次のステージでは更にブラッシュアップし、将来は、人と人々が安心して繋がり、温もりのある社会を構築する一員となって、活躍してほしいと、切に願っています。

保護者の皆さま、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。また、これまでPTA活動をはじめ、諸行事等、本校の教育活動への、ご理解・ご協力に対しまして、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時になりました。新たなステージに向かう84名の皆さんの限りない前途に、幸多きことを願い、式辞といたします。

令和7年3月12日

四万十市立中村西中学校 校長 小野川 憲



1・2年生の皆さん。3年生からバトンが渡されました。これから、どんな学校の歴史を創るのか、楽しみにしています。先輩たちが繋いできた伝統や文化を大切にしながら、頑張っていきましょう。

先日の3年生を送る会では、2年生を中心に企画や運営、ありがとうございました。卒業生へ、皆さんの感謝の気持ちは十分に伝わっていたと思います。送る会では、「次は自分たちが西中を引っ張っていきます。」という力強い言葉を聞くこともできました。

